

“患者当事者のために学ぼう” 実行委員会 主催

第3回

慢性疾患・難病をもつ患者にとっての

「医療制度改革」

国が推し進めている社会保障改革は、慢性疾患や難病をもつ患者にどのような影響をもたらそうとしているのか。その動向について学びたいと思います。

2019年

3/23 土

13:30より受付開始

14:00-16:00

● 場所 : 文京シビックホール 5F 会議室 C

東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター5F

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」/都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」/JR中央・総武線「水道橋」

● 参加費 : 500円 (資料・会場代) 当日受付にて申し受けます。

● 申込み : kanjya.manabou@gmail.com に連絡願います。

第1部 話題提供

14:00~15:00

寺尾 正之さん による 話題提供

公益財団法人 日本医療総合研究所 研究委員

一般社団法人 全国保険医団体連合会 元事務局次長

国は全世代型社会保障の実現に向け、高齢者雇用の拡大や予防・健康づくりを含めた改革の議論を進めています。今後、給付と負担の見直しも含めた社会保障制度全体の改革を進めていく考えです。この全体像と医療制度改革の方向性などについて述べたいと思います。個人の予防・健康づくりと健康寿命の延伸は重要な課題ですが、個人の行動変容を促すインセンティブの強化が転じて、ペナルティ措置を設けたり、事実上の強制となった場合、長期慢性疾患患者を差別・排除する「健康強制社会」となる危険があります。

第2部 意見交換

15:10~16:00

参加者のみんなで見聞交換

「患者当事者のために学ぼう」実行委員会とは :

2018年春、患者が置かれている状況を、当事者や家族はもちろん、支援者や研究者など様々な立場の人たちがみんなで共有する機会が欲しいと患者団体の有志が集いました。

呼びかけ人代表 : 下堂前亨 (全国心臓病の子どもを守る会事務局長) 問合せ : 090-6472-9936